

狭谷西 社協だより

第56号
2014. 1. 15



～誰でもが暮らしやすい福祉のまちづくり
みなさんの参加で活動を進めましょう。～

「デイサマーキャンプ」に想う

文字通り真夏の日帰りキャンプ、小学生を対象に中学生が面倒を見るシステムになっています。

平成25年8月3日猛暑の季節にしては比較的行動しやすい日の福田小学校の校庭で、最初は36人の小学生と32人の中学生がぎこちなさがありましたが、まもなく打ち解け楽しそうに一日を過ごしました。

ここでいつも想うのは、参加した小学生から見れば「じいちゃん、ばあちゃん」と思われる社協・青少年指導員の方が、テントや椅子運び・ゲームの用意・食事などに疲れた素振りも見せず黙々と作業をこなしていた姿に頭が下がります。この「じいちゃん、ばあちゃん」は、



社協・青少年指導員共催事業

キャンプに限らずいろいろな地域行事で元気な姿を見かけます。

まさに昭和の勤労奉仕の精神を思う存分発揮し楽しんでいるように見受けられます。

しかし、積極的に地域ボランティアへ参加している方はまだ一握りであり、定年後時間に余裕の人も沢山いるのでは。この人たちを誘ってより多くの方が地域活動に参加できればハッピーと想いを寄せるデイサマーキャンプでありました。

下福田中の生徒と先生ならびに福田小の先生方ご協力ありがとうございました。



「エー、お笑いを一席・・・」

第55回お楽しみ交流会が地域のひとり暮らしの高齢者と敬愛会のみなさんをご招待して総勢67名で平成25年10月5日に福田コミセンで開催されました。

まずは、別室で「福田南地域包括支援センター敬愛の園」職員による頭の体操や軽体操でリラックス。その後、お食事は今回も食生活改善推進協議会による心づくしのバイキング料理を賞味しました。旬の食材を使って食べ易いように調理されていてとても美味しく、どの料理も食べ尽くされるほどの好評でした。

さて、今回の余興は久しぶりに落語を楽しみました。出演者の“敬愛亭だんだん”「敬愛の園ケア

お楽しみ交流会で落語を鑑賞

センター・だんだん

職員の大野達之さんが、囃家よろしく着物姿で出陣の曲が流れる中を、赤いもうせんをしつらえた

高座に登上し、「エー、

お笑いを一席・・・」と、身振り手振りも可笑しく演目「つる」の噺に、みんなで大笑いしました。大野さんの温かい語り口もあって、アンコールの声が上がりました。

今回も、関係者の皆様の温かいご協力によりまして、和気あいあいと美味しい料理と落語を高齢者のみなさんに楽しんでいただくことができました。

